

第 15 期第 3 四半期業績のご報告
(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

平成 23 年 6 月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

3 月 11 日の東日本大震災により、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げますと共に、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。弊社社員一同、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当四半期における我が国経済は、一部の経済指標に持ち直しの動きが見られるなど回復傾向にありましたが、3月11日の東日本大震災以降、原子力発電所の事故による電力不足や一時的なガソリン不足、又、間接的なものとしては自粛ムード等による消費マインドの低下など、日本経済は大きな影響を受けました。

当社においても、計画停電による直営駐車場の開放、運営会社の投資マインドの低下による駐車場の設置の延期などにより、首都圏における売上・稼働率が大きく低下致しました。

その結果、CPシステム運営事業では既存物件の収益改善策として、不採算事業地の解約、賃料値下げ、又、市場に合わせた料金設定等を実施する事により堅調に推移致しておりましたが、震災以降の稼働率の大幅な低下により、売上高 573,365 千円(前年比 93%)となりました。

CPシステム販売管理事業は、前期と比較し、駐車場事業地販売の未実施もあり、売上高 463,918 千円(前年比 90%)となりました。しかし、特殊要因である販売を除けば前年比 121%と大きく伸長致しました。

プロパティマネジメント事業では全国の物件を集中管理する事により、維持管理の効率化と満室経営を進めましたが、地方都市圏の不動産市場の停滞により入居率が漸減し、66,169 千円(前年比 83%)となりました。

分譲マンション事業においても、最繁忙期である3月での震災という事もあり、販売に影響を受け、売上高 171,865 千円(前年比 85%)の結果となりました。

以上の結果、第 3 四半期の売上高は 1,276,205 千円(前年比 91%)の結果となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年比
CPシステム運営事業	624,823 千円	109%
CPシステム販売管理事業	457,517 千円	99%
プロパティマネジメント事業	71,643 千円	108%
分譲マンション事業	264,753 千円	154%
その他	1,128 千円	127%